

江東区議会議員

鈴木あやこ



- 鈴木あやこ区政報告座談会「あやこcafé」開催案内
- 議会報告
- 地域活動報告
- 鈴木あやこの議会質問

2015年11-12月号 Vol.32

- 発行者：江東区議会 総務・民主・無所属クラブ
江東区東陽 4-11-28 江東区役所内 TEL : 03-3647-9111 (大代表)
- 発行責任者：鈴木綾子 ● 連絡先：鈴木あやこ事務所 江東区豊洲 4-10-18-622
TEL & FAX : 03-3536-4251 Email : suzukiayako2011@mail.goo.ne.jp

鈴木あやこのプロフィール

1975年2月18日生まれ。成城大学卒業後、(株)NTTドコモ勤務。猿江、潮見の居住を経て、豊洲在住。働く若い世代を代弁する女性議員が不在、という江東区議会の構成に問題意識を持ち、在職中に早稲田大学大学院で政策を学び、2011年江東区議会議員に初挑戦・初当選。待機児童問題、子育て・介護など、ワーク・ライフ・バランス政策に注力。インターネットによる情報発信や、対話型の区政報告会「あやこcafé」の毎月実施など、「区政の見える化」を推進。

2015年 江東区議会議員選挙にて2期目の当選。

★ 所属委員会（2015年度）

- 区民環境委員会 副委員長／医療・介護制度特別委員会 委員
- 青少年問題協議会委員／江東区防災協議会 委員
- ★ マニフェスト大賞 副実行委員長
- ★ 趣味：料理・まち歩き・水辺歩き

鈴木あやこホームページ (PC版)

<http://www.suzukiayako.com>

鈴木あやこホームページ (携帯版)

<http://www.suzukiayako.mymp.jp>

Facebook (鈴木綾子)

<https://www.facebook.com/suzukiayako2011>

Twitter

https://twitter.com/ayako_suzuki

地域イベント参加・視察報告

江東区総合防災訓練 地区訓練 (10月9・10日)

江東区総合防災訓練の豊洲地区の訓練に参加深川五中・豊洲小で開催され、災害協力隊として参加。災害発生時の避難所運営協力本部模擬会議や炊き出し・仮設トイレの組立など、実践的な訓練。議員として、地域住民として、防災・減災にしっかりと取り組んでまいります！



ミズベリング世界会議 (10月9・10日)

世界の水辺活用の先進事例を学ぶため、大阪へ。東京オリンピック開催に向け、江東区の水辺の一層の活用を図るため、国内・海外で水辺のまちづくりに取り組む皆さんのお話を伺い、交流と現地視察。写真は大阪の水辺に浮かぶ「ラバーダック」世界に誇れる「水彩都市江東」の水辺づくり、推進していきます！



豊洲ワールドフェスティバル (10月25日)

第3回目となる豊洲ワールドフェスティバル。今年もハロウィンパレードと同時開催。私は、昨年に続いて豊洲商友会のみなさんと、「豊洲はちみつ」を販売。町会自治会・商店街・学校・企業など、豊洲のまちの力を結集した素敵なお祭り。お子さん連れの方も多く、大変盛り上がった一日でした。



鈴木あやこ 区政報告座談会「あやこ Café」のご案内

江東区のまちづくりについて、みなさまとざっくばらんに対話する区政報告座談会「あやこcafé」お気軽にお越しください！

第55回：平成27年11月30日（月）19:00～20:30

豊洲文化センター 和室（江東区豊洲2-2-18）

第56回：平成27年12月15日（火）19:00～20:30

豊洲文化センター 第3会議室（江東区豊洲2-2-18）



鈴木あやこの議会質問（平成26年度決算審査特別委員会 土木費編）

1. マンション関連施策について

(1) 長期計画におけるマンション施策の取り組みとマンション実態調査

区民の「住まいの満足度向上」の観点から江東区では、マンションを中心とした住宅施策にどのように取り組んでいくのか。江東区マンション実態調査の結果を受けて、今後どのように施策展開をすすめていくのか。



答弁（住宅課長）：

今後は居住者の高齢化とともに、マンションの経年化に伴う老朽化の進展が予想される。このため、本区の住宅マスタークリアに目標として掲げている多様な居住ニーズに対応したやさしい住まいづくりの推進や、計画的な修繕実施への啓発・誘導の強化など民間マンションストックの良質な維持管理の促進を目指した施策を継続したい。

また、マンション実態調査の結果を受けての今後の施策展開については、調査結果に基づいて、マンション等の建設に関する条例等の改正や、マンション管理支援事業のさらなる充実を目指す。

(2) 豊洲シビックセンターを活用した土日の相談会の開催について

超高層マンションが集中し、今後大規模修繕の必要性や、マンション管理上の課題が増えている豊洲地区において、シビックセンターを活用し、休日にマンション相談会や、マンション支援事業の周知拡大を図るなどの施策を実施することが必要だ。土日を活用して開催することが、勤め人の多い地域特性に適しているかと考えるが区の見解は。



答弁（住宅課長）：

豊洲シビックセンターを活用した、休日の相談会開催については、湾岸エリアについてはタワーマンションが非常に多い地域で、特有の課題もあるという認識をしている。築年数も経過して、マンションに関する課題や大規模修繕に関する話題も多くなっているので、マンション管理士会と相談して、開催に向けて検討していく。

(3) マンションの民泊について

質問：マンションの一室がインターネットサイト上（airbnb：世界約190カ国、80万件の利用がある海外サイト）で短期間の賃貸がなされているケースが江東区でも増えている。自宅を宿として営業し、投資用マンションよりも高利回りで運用し、利益をあげることを目的に、複数物件に投資する人もおり、運用代行会社もできている。

①本区では、このような実態を把握しているか。

答弁（住宅課長）：承知している。

②現状の相談事例と問題解決に向けた対応について

豊洲・有明などの湾岸エリアの分譲マンションにおいては、管理組合の許可なく不特定多数、国籍を問わずホテルの部屋のように賃貸が繰り返されることで、近隣住民からの苦情に発展し、管理組合が頭を抱えている。

管理面でも、分譲マンションの部屋や共有部の施設などを所有者でない不特定多数が利用することで、騒音や共用部を雑に使うなど、マンションの資産価値の低下なども危惧している管理組合もある。

他の自治体では、賃貸されている物件へ立入調査し行政指導しているケースなどもあるようだ。

・江東区では、相談事例はあるか。

・相談があったときには問題解決に向けてどのような対応が可能か。



答弁（住宅課長）：

住宅課では、本件に関しての相談事例はないが、本区で実施している分譲マンション相談会で相談を受け付けることは可能。また、相談時の対応については、住宅課としては、管理規約の改正、日本語だけでなく、英語や中国語などの言語も併記して行い、部屋の賃貸を禁止するという助言を相談者の方に行なうことが想定される。

答弁（江東区保健所 生活衛生課長）：

豊洲・有明地区の一部で、そのようなことがあることは聞いている。相談事例としては、昨年と今年で3件。

近隣の住民から問い合わせのあった事例で、区内でインターネットの宿泊サイトに掲載し、短期間の宿泊客を泊めていることがわかった事例については、経営者に重ねて注意を行い、営業を止めさせた。

保健所では、相談があったならば現場調査を行い、営業者に説明を求め、行っている行為が旅館業法に抵触するならば、旅館業法に基づき改善指導を行う。

③民泊条例の制定について

東京オリンピック開催に向けてホテル需要が増加する中、豊洲地区でホテル開業の予定はあるが、区内の宿泊施設の不足は目に見えている。喫緊の課題であるため、何らかの手を打つことが必要。江東区と同じく、国家戦略特区に指定されている大田区では、東京オリンピックに向け、外国人旅行者の宿泊に対応するため、マンションなどの空き部屋を宿泊施設として活用する「民泊」を一定の条件のもとで、年内に制定する方針を示した。

・本区では他自治体の条例制定の動きについてどのような見解を持っているか。

・条例制定などについては区ではどのように考えているか。

答弁：(港湾・臨海部対策担当課長)

国家戦略特区区域法における旅館業法の特例については、本区も含まれている東京圏の国家戦略特別区域計画の素案に記載されていることから、他の自治体の動向を注視している。旅館業法の特例については、地域住民の理解も含めた課題もあると認識していることから、条例化については、府内で連携して検討している。